



【 鈴木 茂 プロフィール 】

- ・昭和 3 0 年生れ。
- ・大石小・中学校、熊谷高等学校、明治大学法学部卒業。
- ・大宮市立（現さいたま市）春里・泰平・指扇中学校教諭。
- ・大石小・中学校 PTA 会長。
- ・上尾私立幼稚園協会副会長。
- ・全埼玉私立幼稚園連合会理事。

【 現在 】

- ・上尾市議会議員 総務常任委員会所属
- ・(学)浅間台幼稚園園長
- ・(社)特別養護老人ホーム「パストーン浅間台」理事長
- ・上尾市幼児教育振興協議会委員

問い合わせ先 後援会事務所 〒362-0073 上尾市浅間台 2-18-3
TEL 048-771-7656 FAX 048-774-5880 E-mail info@asamadai.ed.jp
浅間台幼稚園 〒362-0076 上尾市弁財 2-5-3 TEL 048-774-1046

みなさん今日は、上尾市議会議員 鈴木 茂です。12 月 2 日から 12 月 20 日まで上尾市議会定例 12 月議会が開かれていました。私、鈴木茂は、12 月 12 日に市政に対する一般質問（6 回目）を致しましたので報告させて戴きます。

① 地域での自習支援の取り組みについて

9 月 14 日(土)にさいたま市立別所小に 11 月 2 日(土)に大宮西中学校に土曜チャレンジスクールの視察に行き、その仕組みをつかんで来ました。以下がその要点です。

- *1 清水市長の教育理念に基づいて、学校が休みである土曜日に、保護者や地域の方の協力を戴き、希望する児童生徒に、補習などの「学びの機会」を提供する。
- *2 別所小チャレンジスクール実行委員は、別所自治会長、奈良自治会長等の自治会長。宮原地区主任児童委員。PTA 会長等。
- *3 市では教育委員会と子ども未来局が実行委員会を組織する。
- *4 当日のスタッフは、教室コーディネーター1 名・・・チャレンジスクール代表者として連絡調整を行う⇒退職部長、退職校長等、学校の鍵を預かる。
学習アドバイザー・・・学習等をサポート。安全管理委員・・・受付、案内等。
- *5 学習アドバイザー、安全管理委員のボランティアを広く募集する。
- *6 学習アドバイザーには 1 日 2,000 円、安全管理委員には 1,200 円の謝礼が文科省の補助金から支給される。
- *7 さいたま市では、平成 22 年から全ての小中学校で行われている。

さいたま市の土曜チャレンジスクールを上尾市はどのようにとらえているのか？

回答 土曜日に地域の方の協力を得て、自主的な学習をサポートする事業で、児童生徒を心豊かに健やかに育む環境づくりを推進する特色ある取り組みの 1 つとして受け止めている。

上尾市での取り組み状況は？

回答 上尾市では土曜日に定期的に行う事業はない。平方小学校では、子供達の学習プリントについて、保護者の中から募った家庭学習支援ボランティア「花まるサポーター」が答え合わせを行う活動が行われている。

大宮西中学校では 4 年前の研究指定校の時に補習授業が始まったとの事だが、上尾市の「魅力ある学校づくり事業（研究指定校：予算 681 万）」でも同様の取り組みはあるのか？

回答 魅力ある学校づくり事業は、各学校が自校の学校教育の充実を図るためにテーマを設定し研究を推進する事業で、「土曜チャレンジスクール」のような取り組みはない。

意見 私は、11 月 13 日(水)に富士見幼稚園に「宿題カフェろばの子の会（上尾富士見幼稚園・NPO 法人なごみ共催）」を見学に行きました。小学 2~4 年生 5 人を NPO 法人の方、ボランティアの方、富士見幼稚園の主任の先生 5 人で算数、国語の勉強を観ていました。「宿題カフェ」の意味は、勉強後お茶とお菓子の時間があるから来ているとの事。そのお茶菓子代と大学生の電車賃は、当初は NPO 法人代表者の自腹だったが、現在は月 1,000 円を戴いているとの事でした。

上尾市ではこのような地域での自習支援教室への援助はないのか？

回答 市では、宿題カフェろばの子の会等様々な団体が行っている子ども達のための無償の学習支援活動については、各団体の自主的な活動ととらえており、現状では金銭的な支援は考えていない。

意見 宿題カフェろばの子の会の主任の先生も、NPO 法人代表者の方も小学校の先生はとても協力的だったとの事。でも先生方は忙しい。数十人の子を一人一人放課後付き添って面倒見る事など不可能。そこで地域での自習支援、学習支援が必要。地域の公民館、集会所、学校の空き教室が無料で借りられ、地域の方や教職や福祉へ進もうと考えている学生が交通費程度のボランティアで教える。足し算引き算の繰り上がり繰り下がりですまらずいた子、掛け算割り算、分数ですまらずいた子達を週 1 回か 2 回教えるそんな教室が上尾市中に広がったらと考える。

トップが決断し退職部長・校長、NPO の方をコーディネーターに組織して上尾市全体で自習支援の取り組みをしたらどうか？

回答 学校を支える地域では、子どもへの体験活動や安全や環境への配慮、学習支援など独自の取り組みが行われている。自習支援を統一的に取り組む必要性については、検討課題としたい。

再質問：さいたま市の土曜チャレンジスクールは、さいたま市の清水市長の教育理念に基づいて平成 22 年から全校で実施されている。島村市長の教育理念は？

回答 子どもは、無限の可能性を秘めている。したがってどの子も志をもち、学力を身に着け、心豊かに健やかに育ってほしい。次代を担う子どもを育てる教育は、重要な仕事と考えており、教育環境の整備などに力を注いでいきたい。今後も教育委員会と連携を図ってまいりたい。

意見 先日 TV 朝日夕方 5 時から J チャンネルで目撃「学びたい」深刻、学習弱者。“無料塾”で貧困を抜け出せ。中 3 でも学力は小学生。というタイトルで無料塾の広がりを報道していた。離婚等で片親しかいない等の家庭では、家で勉強を観てあげる事が難しい場合がある。こういう子が足し算・引き算の繰り上がり・繰り下がりですまらずいた時、援助してあげる仕組みができたと思う。上尾市の宝である子供達の未来のために福祉と教育が一体となって政策を進めるべきだと考える。小学校ですまらずいた子が不登校や引きこもりになれば、やがて生活保護へとつながってしまう。子どもへの投資は未来の投資で、ぜひ検討して欲しい。

② 学童保育所について

意見 平成 26 年 4 月から大石北学童は、大石北第 2 学童と同じビルの中に移転する。大石北学童保育所に通わせている保護者から「移転先のビルは、学校から遠いし遊び場もない。学校敷地内に作れないか」とのご意見を戴いた。

大石北学童保育所の学校敷地内の移転の見通しは？

回答 大石北学童保育所は、学校敷地外の私有地を借用しているが、契約満了の3月31日をもって、返還することになっている。移転先は3階建てビルの2階と3階部分を利用するという事で児童が外で遊ぶ場所が無い。学校敷地内移転について関係課と協議し取り組んでいきたい。

学区内に無い大石南学童保育所の学校敷地内移転の見通しは？

回答 大石南学童保育所は、現在36名の児童が利用しており、私有地を借用している。返還要求のリスクや施設が学区外にあることから児童の通所の安全のために、学校敷地内への移設が必用と考えている。

→大石学童保育所は大規模になって第2学童が作られた。第2学童設立にあたって私も多少尽力させて戴いた。それでも70名を超える大規模になってしまったとの事。

大石学童保育所の大規模化対策はどうなっているのか？

回答 大石学童保育所の児童数は、25年度4月1日で74人。本市では、待機児童を出さないよう入室を希望する児童の受け入れをしており、指導員の加配をするなど安全に配慮した対応をしている。今後は「子ども子育て支援新制度」の状況を注視し、施設整備を含め、対処方法を検討していきたい。

意見 大石学童の大規模化のように、今後学童のニーズは、女性の社会進出に伴いどんどん増えていく可能性がある。一方パートで勤めているお母さんもかなりいて、5時位まで預かってもらえれば十分という人もいる。

文科省の予算を使って放課後子ども教室を開始して、学童との一体化を考えたかどうか？

回答 現在、各学校において放課後子ども教室は設置されていない。学童保育所は、放課後に安全で健やかな居場所をつくる点で、その役割を果たしていると考えている。

③ 発達障害児の支援について

平成25年度のアップピースマイルサポーター(学級支援員)の配置要望人数と配置状況は？

回答 平成25年度当初、学校から報告された特別な教育的支援が必要な児童生徒数は311名。配置人数は、報告を受けた児童生徒の状況・学級の様子を教育センター担当者が参観し、総合的に判断し、平方幼稚園と市内全小中学校に72名を配置している。

再質問：昨年の12月議会で同じ質問をし、配置要望人数が235名で12月段階で配置人数69名という回答だった。配置要望人数が76名増えている。今後特別な教育的支援が必要な児童生徒数の報告が増えていく場合、アップピースマイルサポーターや特別支援学級の数を増やしたらどうか？

回答 アップピースマイルサポーターの配置人数や特別支援学級の設置については、児童生徒の見込み数の需要予測を的確に行い、その数により関係部署と十分に連携を図り対応していきたい。

意見 発達障害児といってもさまざまでその支援も一人一人違って来る。ただ補助をつけるだけではだめで、手取り足取りしなければならない子もいるし、そうすると助手に頼り切りになってしまう子もいる。どの程度手を貸し、どの程度見守るかが大切である。


特別支援教育コーディネーター、アップピースマイルサポーター、担任との連携は大切である。この三者の連携はどのように行われているのか？

回答 各学校では、校内委員会で情報交換、個別の指導計画の作成や進捗状況の確認をし、共通理解を図り、児童生徒の実態に応じた支援を行っている。アップピースマイルサポーターの日々の活動を記録した報告書を活用し連携を図っている。

要望 埼玉県教育行政重点施策の基本目標1に「特別支援教育の推進」がある。重点的な取り組みの中で「発達障害児への支援など小・中・高等学校等における支援体制の充実」がうたわれている。さいたま市では特別支援学級の増設に力を入れると教育長が発表した。上尾市でも発達障害児支援のため予算を確保してアップピースマイルサポーターを増やすか、特別支援学級を増やすよう要望する。特別支援教育コーディネーター、アップピースマイルサポーター、担任の三者が月に一度、せめて学期に一度顔を合わせて発達障害の子について話し合う機会を設けて欲しい。

12月議会での市の主な提出議案

- ◎ 上尾市組織再編
 - ① パスポートセンター設置（県から権限移譲）→10月から。
 - ② 水道と下水が一体になって上下水道部の新設。建設部と都市整備部が統合→都市整備部に。
 - ③ 子育て支援窓口が縦割りという課題改善のため子ども未来部と若者相談センターの新設。
 - ④ 1階から7階までの窓口等の改修予算に1億4千万円。ゴールデンウィーク中に改修予定。
- ◎ 上尾市民ギャラリー条例の改正
 - 市民ギャラリー（東武サロン）使用料の値上げ
 - ア 市内利用者 42,000円（1週間）→47,000円
 - イ 市外利用者 49,000円（1週間）→94,000円
 - 市役所ギャラリー（市役所東側建物）使用料 無料→5,000円（1週間）4月1日から

 市議会議員になって折り返しの2年が経ちました。この2年は、驚く事の連続だったと思います。議会というからには、議員同士で議論をたくさん交わすのかと思っていましたが、上尾市議会では、殆ど議論がありません。野党は市政を批判し与党会派は、市側の提案に全て賛成するだけのように感じます。自分の仕事の為に議員の立場を利用していると噂されている人、議長・副議長・委員長等のポストにしか興味がないと言われている人がいるとも言われています。今、全国的に地方議員の活動・役割が見えないと言われていて、その反省から議会改革が叫ばれています。当、上尾市議会でも議会改革特別委員会を設置して、議会基本条例を制定して議会改革を進めようとしています。私は、この委員会には所属しておりませんが、聞く所によると相当の抵抗（今のままで十分、変える必要なんか無い）があるようです。

私は、そんな中で2度目の新会派「上尾政策フォーラム」結成に参画しました。新会派「上尾政策フォーラム」規約に書かれている基本理念は以下の通りです。

(基本理念)

第1条 会派の基本理念は、次のとおりとする。

1. 市民のための市政発展という共通目的をもった政策集団として、上尾市における諸課題に対して、議員間の徹底した議論を通じ共通認識を深め、政策立案、提言を積極的に行う。
2. 二元代表制の議会としての権能を高め、市民の負託に応えるために議会改革・活性化を積極的にすすめる。

また、議会の中でもある特定の人全てを取り仕切っていて、他の議員はそれに唯々諾々と従っている事が多いと感じました。そこで新会派では、「議員は、対等、平等という原則を基本とする」「議員一人一人の政治的立場や意見の相違を尊重する。議員の行動は各自が責任を負う」という申し合わせ事項を決定しました。自分の思ったように議会活動が行えていないと感じる事の多い2年間でしたが、気を取り直して残りの2年間、理想とする議会活動を目指して邁進して参りたいと思います。